

V2H-充放電器

*V2H-充放電器はデンソーの商品です。

停電しても、
家全体がまるごと復旧！^{※1}

5900Wまで
使用可能



● V2H-充放電器とは

ご自宅に設置することで、「クルマへの充電」と「クルマから建物への給電」の両方ができるようになります。

V2H-充放電器は太陽光発電と併用して活用することもできます。^{※2}

例えば、日中は太陽光発電で家に電気を供給し、余剰電力はV2H-充放電器を通してクルマを充電できます。また、夜間はクルマにためた電気を家の電力として使うことができます。



● 家まるごと給電

V2H-充放電器があれば、停電しても家全体がまるごと復旧！^{※1}



▶ 5900Wまで使用可能

さらに太陽光発電があれば、発電した電気をクルマに充電することで長期の停電時にも対応できます。^{※2}



※1 停電時にご使用を控えていただきたい機器や、使用できない機器がございます。契約電力1500W以下の範囲でご使用ください。1500Wを超える場合は給電回路を限定して設置します。
※2 停電時に太陽光発電が利用できるかどうかは、太陽光発電のパワーコンディショナーの機種によります。

● V2H関連の補助金

補助上 限額	経済産業省	環境省	対象車両(補助金見込み金額)
電気自動車 購入費	60万円	80万円	
プラグインハイブリッド車 購入費	30万円	40万円	
燃料電池自動車 購入費	250万円	250万円	
V2H設備費	55万円	55万円	
V2H工事費	40万円	40万円(個人) 95万円(法人等)	プリウスPHV (経済産業省 30万円) (環境省40万円) MIRAI* (140.3万円)
期間	令和2年12月21日から新車新規登録(登録車)または新車新規検査届出(軽自動車)された自動車が対象		

補助金の詳しい内容は、経済産業省や環境省のホームページをご確認いただけます。

● 経産省3次補正助制度をご利用の場合、補助金の交付には、2年間の災害時活用状況モニタリングへのご協力が必要となります。● 環境省3次補正助制度をご利用の場合、補助金の交付には、再エネ100%使用と、4年間の電力使用モニタリングへのご協力が必要となります。● 工事費は建物の状況により異なります。● 補助金額は工事の内容等により異なります。別途、補助金申請代行手数料を申し受けます。

* MIRAIの充電はできません。V2H-充放電器を通してMIRAIから建物への給電が可能です。また、Advanced Drive設定グレードはクルマde給電設定不可となります。

V2Hなど、充電設備・工事取付けの詳細はこちらから

